

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	旅行代理店（店長）	・海外旅行のアジア方面が回復すると判断し、全体で対前年の95%以上が望めるという状況であるため、先行きに期待できる。
	やや良くなる	コンビニ（経営者）	・閉塞感からくる購買意欲がそろそろ爆発しないかと期待している。海外旅行に行かないことで、国内需要の増加が期待できる。
		コンビニ（エリア担当）	・今の異常気象が平年並みに戻ってくれば、少しは今より良くなってくると思う。
		衣料品専門店（営業・販売）	・新規客の伸びが順調で、今後も続きそうであることから、先行きに期待される。
		家電量販店（店長）	・今までにない機能や性能、デザインをもった商品が増えてきている。パソコンにおいても価格は下落しているが、性能が良いことで台数を伸ばしている。一時のことを考えると、やや良くなっていくのではないかと思う。
		家電量販店（経理担当）	・リストラの結果、業績回復する企業が多いので、一時期に比べ先行きの暗さが薄らいできているように感じる。秋になれば冷夏の影響も無くなり、やや良くなるのではないかと思う。
		乗用車販売店（営業担当）	・9月、10月に新型車が出る予定であることから、先行きに期待できる。
		その他専門店〔医薬品〕（店員）	・季節商品の種類が、気温が上がる度に増えてきている状況なので、これから暑くなれば大量に出るとされるため、客への訴求につながることを期待される。
		旅行代理店（広報担当）	・10月頃にはSARSやイラク戦争の影響もなくなり、海外旅行の申込が通常程度には戻ってくるだろうと考えている。したがって、今よりは良くなっているのではないかと思われる。
		タクシー運転手	・遠距離割引料金を導入したことから、先行きの見通しは良い。
		通信会社（経営者）	・新規案件が安定的に増えつつあるように感じることから、先行きの見通しは明るい。
		遊園地（経営者）	・今まで買っていた客が徐々に戻ってきているように思われることから、先行きに期待できる。
		その他レジャー施設〔球場〕（企画担当）	・フランチャイズの在阪球団の成績が不調で1試合当たりの観客数は多くないが、9月には11試合が予定されている。今後上位球団とのゲーム差が縮まり優勝争いとなると、観客増加、売上増加が期待できる。
		変わらない	一般小売店〔時計〕（経営者）
一般小売店〔酒〕（経営者）	・昨年は飲酒運転罰則強化のため売上が減ったが、今年は現在の調子が維持できる。		
百貨店（売場主任）	・7月は売上が上向きであったほか、今後改装も予定しているが、厳しい状況は一気には回復しないと思われる。やや上向き傾向で推移するものの、やはり厳しい状況が続く。		
百貨店（売場主任）	・ギフト需要が高まっていくとは考えにくい。パーソナルギフトは上向きであるが、慣例ギフトは厳しい状態であり、今の状態が続く。		
百貨店（売場主任）	・顧客の購買に対する姿勢に変化が起こる感じはせず、厳しい現状が続くと思われる。ただ、癒しやノスタルジックなど情緒的な付加価値を求める意識は高まりそうであり、購買の動機付けになる。		
百貨店（売場主任）	・宝飾、時計の動きは株価に連動している部分が大きく、今後の消費全体の活性化につながるとはいえない。また、高額品に関しては以前と比較して商談から決定に至るまでの時間がかかるようになっており、厳しい状況が続く。		
百貨店（売場主任）	・百貨店の定価販売に対しては、まだまだ消費者の財布のひもは固いと考えられることから、厳しい現状が続く。		
百貨店（企画担当）	・ファッションではヒット商材がいまだ見当たらず、活発な動きは期待できない。		
百貨店（営業担当）	・リビング関連はさほど伸びないと思われるが、美術品や宝飾品は、今後も同じように売上の増加が予想される。		
スーパー（店長）	・企業の取組内容が、まだ収入拡大より経費削減にウエイトをおいていると思われることから、厳しい現状が続く。		

スーパー（企画担当）	・地場産業である梅と漁業関係の先行きがあまり明るくないことから、厳しい現状が続く。
スーパー（経理担当）	・品質を重視して品揃えをしているが、価格で消費者が買物をしているように見える。特に女性の行動範囲が広くなり、一店舗集中の買物ではないように思えることから、今後も厳しい現状が続く。
家電量販店（経営者）	・高付加価値の商品、健康関連商品などは意外と動いているが、全体を引き上げるほどではないと思われることから、厳しい現状が続く。
乗用車販売店（経営者）	・株価の上昇や、在阪球団の優勝がほぼ決定ということで関西は盛り上がっているが、冷夏のため景気の盛り上がりには水を指すのではないかと不安があることから、今の状況が続く。
乗用車販売店（営業担当）	・今年の夏のボーナスの支給額が昨年より減っているところが大半で、定期的な乗換えは見込めるものの、昨年より活発になるとは思えないことから、厳しい現状が続く。
観光型旅館（経営者）	・9月に酒販免許が解禁になるが、景気回復につながるほどではないと予想されることから、厳しい現状が続く。
都市型ホテル（スタッフ）	・現在の状況が変化する要素が乏しいため、先の状況も現在とあまり変わらないと考える。宿泊の予約状況、宴会の予約状況ともに、いずれも良いとは思えない。
旅行代理店（営業担当）	・繁忙期である7月に対しての動きは5月度から上昇カーブを描かなければいけない状況で、先行予約が前年に対して海外50%、国内100%という状態では、今後の回復は望めない。
タクシー運転手	・ボーナスも出て夏休みにも入り、人の動きが期待される時期ではあるが、今年は冷夏の予想があることから期待できず、厳しい現状が続く。
タクシー会社（経営者）	・法人利用の減少が続くと思う。今が底の状態、これが2、3か月続くとはいえないかと思われる。
通信会社（経営者）	・携帯電話市場は飽和状態であることから、それなりのインパクトのある商材の投入がないと活性化しないため、今後も厳しい現状が続く。
通信会社（社員）	・大きな流れではマーケットは縮小傾向だが、新商品を揃えるので、今と変わらない程度に推移する。
ゴルフ場（経営者）	・目新しい、面白いイベントが企画できるかどうかにかかっているとされる。ある程度面白い企画をすれば客が呼び込めるめどが立ってきた。
その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・将来の予約状況は昨年に比べて確かに良い。久しぶりに利用する客もみられる。しかし、イベント主催者に良い所と悪い所のばらつきがみられ、予約状況の順調さがそのまま景気回復とはいえない。
その他サービス [学習塾] (経営者)	・相変わらず、塾を取り巻く教育熱が冷えたままである。経済的に余裕がないというよりも勉強意欲の低下がここに来て顕著になっており、厳しい現状が続く。
やや悪くなる	
一般小売店 [精肉] (管理担当)	・8月にセーフガードが発動され、さらに原料の高騰が予測される。外食関係も相当に厳しくなるのではないかとと思われることから、先行きの見通しは厳しい。
百貨店 (売場主任)	・在阪球団の好調で一時的に良くなると思うが、その後の反動で悪化することが懸念される。
百貨店 (売場主任)	・セール期間中にも関わらず、ジャストシーズン用として、ジャケットやスカートなど秋物のプロパー商品を購入する客が例年に比べ非常に多いことから、実際の秋冬物の実需時期に買い控えが入ることを非常に懸念している。
スーパー (経理担当)	・今後の予測は難しいが、本格的な夏の到来がないと夏物の不振を取り戻すことは難しいことから、厳しい状況が予想される。
コンビニ (経営者)	・来客数、客単価とも相変わらず下落傾向が続くと思われる。今後も冷夏が予想され、ドリンク類やアイスクリーム類の売上も期待できない。
衣料品専門店 (経営者)	・売場では、SARSやテロの影響はなくなったように思えるが、まだ秋の旅行のための服を買おうという意識にはならないように思う。また今後ヒット商品が出るか出ないかについても不安であることから、先行きの見通しは厳しい。
乗用車販売店 (経営者)	・テロやSARSなどの不安から国際市場が低迷しているため、先行きの見通しは厳しい。
乗用車販売店 (経営者)	・7月中旬以降は高額車が売れる時期であるが、今年は厳しい状況であることから、先行きには期待できない。

		観光型ホテル（経営者）	・先行きの見通しは不透明であるが、厳しくなると考えている。予約申込みが極端に間際化してきており、その月が終わって見なければ良し悪しが判断できない状況である。SARS騒動の際も、国内観光が少し良くなるといわれていたが、そのような結果にはならなかった。
		ゴルフ場（経営者）	・株価も少し持ち直してきて良い傾向ではあるが、ゴルフに関してはお金をかけたくないという傾向が顕著にみられるなど、先行きの見通しは厳しい。
		美容室（経営者）	・市内で大企業が4社もなくなった一方、他市に大型店ができて客の流入が少なくなったことで、昼間の人口が減少した。先行きの見通しは非常に厳しい。
		その他住宅 [情報誌]（編集者）	・過去の住宅ローン金利の上昇は、すべて住宅の売行き停滞を招いていることから、予定通り9月からの公庫金利の引上げが行われると、秋の新築物件供給が拡大される時期に大きなブレーキとなる可能性が大きい。
	悪くなる	商店街（代表者）	・近隣に中堅スーパーが出店したため、先行きの見通しは厳しい。
		スーパー（店長）	・近隣に大規模店舗がオープンして、市場では競争がかなり厳しいものになっていることから、先行きの見通しは非常に厳しい。
		住宅販売会社（経営者）	・販売イベントや広告に対しても反響がほとんどなく、成約に至る案件が少ないことから、先行きの見通しは非常に厳しい。
		住宅販売会社（従業員）	・公庫の金利が9月から2.4%になるが、そのインパクトは強い。今以上に物件ごとの売行きの差が開くと思われるほか、売れるのは低価格路線の物件になると予想されるなど、先行きには期待できない。
企業動向関連	良くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・株価動向をみていると、1株当たりの株主資本が額面を下回っている企業が多く、当社が新しく始めた情報サイトに対するIR広告依頼が望めそうなことから、先行きに期待が持たれる。
	やや良くなる	食料品製造業（従業員）	・秋口に入り、食品の取扱い品目も変わって少しメリハリがつくと思われるため、多少の消費増を期待している。
		化学工業（経営者）	・在阪球団の好調による効果が出てきたのか、売上も下げ止まり、商談にも明るい話題が多くなってきたことから、先行きに期待できる。
		化学工業（経営者）	・デジタル放送に伴い、テレビの買換えがそろそろ始まるのではないかと期待される。
		一般機械器具製造業（経営者）	・全般的に、取引先の設備投資意欲は依然として低迷しているが、ここ数か月は順調に受注を伸ばすことができそうであることから、先行きに期待が持てる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・自社製品開発が成功し、一号製品を受注したことから、先行きに期待が持てる。
	変わらない	建設業（社員）	・工事単価は下げ止まりつつあり、収益は少ないが回復しつつある。しかし、建築需要は引き続き低調であることから、厳しい現状が続くと思われる。
		金融業（支店長）	・SARSの関係で秋物商品が現地で生産できず、商品確保のため奔走しなければならないので、今の状態が続くのではないかと思う。
		不動産業（経営者）	・大阪市内中心部の1階店舗部分への出店意欲はおう盛であるが、上階への出店は人気スポットの近隣であっても賃料も含め慎重であることから、今後も厳しい状況が続くと思われる。
		その他非製造業 [衣服卸]（経営者）	・小売においては、売価低下、競争激化が広まる傾向で、回復材料に乏しい。価格下落は消費者の希望に合っているの、修正される気配がない。当面は生き残りゲーム的な要素が強まると思われる。また、秋口の中国ではSARSの流行が懸念されることから、製造、利益面での不安を感じる。
	やや悪くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・ガラス瓶を作っているが、今年は冷夏のため売行きは悪くなると推測される。
		コピーサービス業（従業員）	・各メーカーとも、秋冬の新商品発売の企画に思い切ったものを出せない状況から、景気の回復は見込めないと考えられる。唯一の明るい材料である在阪球団景気も期待はしているが、あまりに早いマジック点灯だけに持続性はあるものの、優勝時の爆発力には欠けるような気がする。
		その他非製造業 [民間放送]（従業員）	・各番組の視聴率も伸び悩み、今後の特別番組にもテレビスポットセールスにとって障害となる要因が多いことから、先行きの見通しは厳しい。

	悪くなる	不動産業（営業担当）	・今年は冷夏のため夏物商戦が苦戦している。服やエアコンの売行きが鈍っていることから、まだ景気は悪くなると思われる。
雇用 関連	良くなる		
	やや良くなる	新聞社〔求人広告〕 （担当者） 民間職業紹介機関（支 社長） 学校〔大学〕（就職担 当）	・秋口からの求人数の回復が見込まれるという意見が、あらゆる所から聞こえてくるなど、先行きの見通しは明るい。 ・関西企業のすべてではないが、人材の枯渇感が出始めてきている企業が少しずつ増えるように思えることから、先行きに明るさを感じる。 ・訪問先企業の話によると、採用に前向きになってきていることから、先行きに期待できる。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・取引先にコストカットの意識が続いており、求人数は伸びないと考えられる。また長期的、将来的な展望を持てる企業が少なく、手探り状態が続いていることから、今後も厳しい状況が続く。
		人材派遣会社（社員）	・先の受注状況は横ばい状況で、景気回復の動きは感じられない。ただし、年頭に正社員採用を手控えた企業からの退職補充による派遣社員代替の要請が増加しており、若干の明るい兆しは感じられる。
		職業安定所（職員）	・運輸、通信業および卸、小売業における求人が増加傾向にあり、サービス業を中心として一部回復傾向にあると思われるが、求人内容では依然として臨時的な内容にとどまっている。また、求人の増加に伴い紹介件数も増加しているものの、就職件数が増加に転じていないことなどから、今後も厳しい状況が続くと思われる。
		職業安定所（職員）	・求人数は増加しているが、プール監視員等の季節的な臨時雇用が多いほか、スーパーの新規出店や勤務時間延長のパート求人の募集がある一方で、店舗を閉鎖する相談もあるなど、雇用情勢は依然として厳しい状況が続くと思われる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・企業の業績は回復基調にあり、雇用情勢も好転の兆しである。しかし、学生の内定率は前年と比較してまだ横ばいであることから、まだ先行きに期待はできない。
	やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・求人広告料をなるべく削減するため、ハローワークや広告料の安い情報誌へのシフトが徐々に強くなってきたことから、先行きの見通しは厳しい。
	悪くなる	-	-